

「フィルム」に刻まれたあなたの物語

皆さんは、「今年の漢字」って知っていますか？これは日本漢字能力検定協会が一年の世相を漢字一字で表す行事で、全国からの応募で最多の字を年末に発表します。2025年は『熊』が選ばされました。それは、この一年が人々の生活に大きく影響した出来事を象徴しています。

では、皆さんに質問です。自分の一年を漢字一字で表すとしたら、どんな文字にしますか？ちなみに私のこの一年は『挑（む）』という文字です。新しいことに挑戦し、様々な壁を乗り越えようとした一年だったからです。

さて、今日は2学期の終わりの日です。この2学期、皆さん一人ひとりの頑張りが本当に素晴らしい、楽しさや喜び、感動は私に元気をくれました。本当にありがとうございました。

これまで何度も伝えてきたように、『ばらばらで一緒』——この物語の主人公は“あなた自身”です。あなたの人生はまるで一本の映画のようで、この2学期はその映画の中でも大切なシーンとして心に刻まれたことでしょう。それでは、本校が大切にしている「粘り強く挑む力」と「心をつなぐコミュニケーション力」をこの2学期に皆さんがどのように育んできたのか、振り返ってみたいと思います。

まず、2学期の始業式で話したサーカスの象の話を覚えていますか。あの象は小さい頃に杭につながれていたため、「自分には力がない」と思い込み、逃げようとしたことさえやめていました。しかし本当は、その象は杭や鎖を断ち切るだけの力を持っていたのです。この話で私が伝えたかったのは、「どうせ無理だ」と思う“あきらめの杭”を抜き、今の自分の殻を破ってほしいということでした。

この2学期——自分の可能性を信じて頑張り続け、成し遂げられたことが何かしらあるはずです。不安や焦りを抱えながらも、自分の目標に向かって一歩ずつ努力できたことが何かしらあるはずです。それこそが皆さんのが“粘り強く挑む力”を発揮した証です。私は皆さんに小さな成功体験を積み重ね、その成長の足跡を自分の人生のフィルムに刻んできたと信じています。

次に、始業式で引用したイチローさんの言葉、「チームのためにできる最善は、自分の責任を果たすことだ」を覚えていますか。

この2学期——誰もが「自分はチームに必要とされている」と感じ、自分の役割を見付けて責任を果たそうとしていました。仲間との活動の中で思いを伝え、仲間の心に耳を傾けたこと——それが“心をつなぐコミュニケーション力”です。互いの心をキャッチボールのように投げ合い、受け止め合った時間が楽しさや感動を生みました。その心キャッチボールが、あなたの物語にかけがえのない名シーンを彩ったと私は信じています。

これから始まる冬休みは、これらの力を試すチャンスです。皆さんの物語のフィルムは冬休みへと続きます。未来はまだ白紙です。「今しかできないこと」を探し、この冬休みが新しい自分に出会うためのブレイクスルーになることを願っています。

そして冬休みにはぜひ「あなた自身のこの一年の漢字」をじっくり考えてみてください。その一字は、あなたがこの一年で何を成し遂げ、何を学び、どのように成長したかを教えてくれるでしょう。同時に来年をどんな一年にしたいか、「2026年の漢字一字」も考えてみましょう。その一字に新しい年の目標や挑戦を込めて、未来のフィルムをデザインしてください。

遊ぶこと、ゆっくりと休むことも大切に。それでは、心を込めて伝えます。いってらっしゃい。

(071225 2学期終業式 校長挨拶より)